

サイパン市調査報告書概要版

○本調査について

サイパン市の文化、教育、治安など、現地の視察や関係者から聞き取り等を行い、その内容を今後の都市間交流に向けた検討に活かすことを目的として、本調査を実施した。

○調査の実施時期

1 サイパン市への現地視察

令和7（2025）年7月4日～7月6日

2 交流自治体からの聞き取り

(1) 北海道登別市 令和7（2025）年6月24日

(2) 千葉県香取市 令和7（2025）年6月25日

サイパン市調査報告書概要版

○報告内容

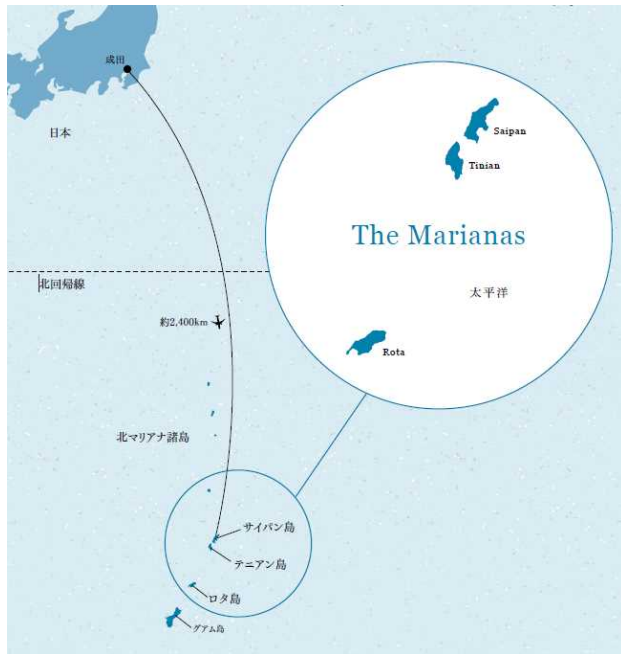
- | | | | |
|----|--------------|----|--------------|
| 1 | サイパン市の特徴（地理） | 11 | 産業 |
| 2 | 天候 | 12 | 環境問題 |
| 3 | 人口 | 13 | 政治 |
| 4 | 住民の特徴 | 14 | 市政の取組 |
| 5 | 治安 | 15 | 都市間交流 |
| 6 | 伝統、祭り、イベント | 16 | 交通 車社会、航空 |
| 7 | 居住地域 | 17 | 出入国 ビザ 税関申告 |
| 8 | 教育 | 18 | その他 |
| 9 | 歴史 | | 本報告書の作成にあたって |
| 10 | 文化、スポーツ、宗教 | | |

1 サイパン市の特徴（地理）

サイパン市はアメリカ合衆国の自治領である北マリアナ諸島にある。

東京から直線距離で南に2,359kmに位置するサイパン島と、その南に位置するアギガン島（無人）で構成されている。

日本との時差は1時間で、サイパン市の方が1時間進んでいる。



マリアナ政府観光局「北マリアナ諸島オフィシャルガイド」から抜粋

2 天候

年間平均気温が25℃を超える熱帯海洋性気候で、1年を通して気温の変化が少なく温暖な気候で、雨季（5月～10月）と乾季（11月～4月）がある。雨季には短時間に大量の雨を降らすスコールが多くなるほか、台風の影響を受けることがある。

日差しが非常に強く、短時間での日焼けや日射病に注意が必要である。

発生しうる災害として、台風があり、過去には島の半分の地域が台風被害により電気、水道が長期間停止するなどの甚大な被害を被った。

なお、マリアナ海峡が深く、津波が起こっても海峡で相殺されるため、津波の被害が起こることあまり考えられないとのことだった。

3 人口

人口は約43,000人で、減少傾向にある。

住民は先住系のチャモロ人、カリフォルニア系住民のほか、フィリピン系、中国系、韓国系、日系、ミクロネシア系、および米国本土アメリカ系住民などで構成されている。

4 住民の特徴

生活の中に様々な人種がいることから、他の民族との関りが日常的にある。日本人が多く住んでいた歴史もあり、日本人に友好的に接してくれる。

現地で出会った子供たちは、シャイで少し人見知りをするものの、慣れると人懐っこく、真面目な印象を受けた。



多くの方々は、週末に家族でバーベキューをして過ごしている

5 治安

重大犯罪はほとんどない。発生する犯罪の例としては、窃盗や麻薬使用がある。

観光客としては、日中観光地を楽しむ場合にはあまり心配は無いが、置き引きへの注意や夜間の一人歩きは避けることが推奨されている。

法令により18歳未満の喫煙および公共の場所または禁煙サインがある場所での喫煙は禁煙法により禁止されている。

法令により21歳未満の飲酒が禁止されており、また、22時～翌8時までのアルコールの販売は禁止されている。

6 伝統、祭り、イベント

① 解放記念日

アメリカ合衆国の独立記念日にあたる7月4日には、解放記念日（Liberation Day）に、サイパン市主催のフェスティバルとパレードを行う。サイパン市が行う最大のイベントである。

パレードは、同じ北マリアナ諸島のテニアン市、ロタ市とともに、各市から団体が参加し、盛大に開催される。

フェスティバルは、約1ヶ月行われ、開催日は毎晩大変な賑わいになる。

パレード



フェスティバル
RBカマチョ市長のInstagramから

6 伝統、祭り、イベント

② 復活祭（イースター）

サイパン市にはキリスト教カトリック教会を信仰されている方が多く、復活祭の日には、高さ7～8メートルはある大きな木の十字架を、教会から島で最も高いタポチョ山の頂上付近まで、大勢の信者が担いで上る儀式がある。

③ サイパンマラソン

世界陸上連盟（World Athletics）と国際マラソンおよび長距離競争協会（AIMS）の認証を受けた大会で、毎年3月に開催される。フルマラソン、ハーフマラソン、10キロ、5キロの部があり、600名～700名がエントリーされる。

④ ロードレース「ヘル・オブ・マリアナ」

毎年12月頃に開催されるロードサイクルのレースで、100kmおよび50kmの部がある。日本からも多くの方が参加されているほか、青梅市スポーツ協会から選手が派遣されている。

7 居住地域

サイパン島西部の海岸沿いには住宅地が点在しており、ほとんどの官公庁についても、このエリアに設置されている。

南部の空港北側のほか、南東部の平地にも住宅街がある。

8 教育

小学校が5年間、中学校が3年間、高校は4年間となっている。

公立校は、小学校9校、中学校2校、高校3校があり、他に私立校がある。

9月中旬から6月中旬までを1年度としており、学校開設期間でもある

9 歴史

サイパン島は第一次世界大戦後の大正9（1920）年から、日本の委任統治領となり、沖縄などからの多くの移住者が砂糖産業や漁業に従事していた。

太平洋戦争では、アメリカ軍が上陸する海岸線、空港、タポチョ山、ガラパン地区など、島内の各地は壮絶な地上戦の舞台となった。

島の北部に追い詰められた日本の兵士や民間人の多くは、捕虜になるのを恐れ、島北端のマッピ岬やマッピ山頂からの自決を選択した。

マッピ山頂の断崖は、多数の日本人が投身自決した「スーサイドクリフ」として知られているほか、マッピ岬は、多数の日本人が「バンザイ」と叫びながら、自ら海に飛び込み命を絶った場所として「バンザイクリフ」と呼ばれている。

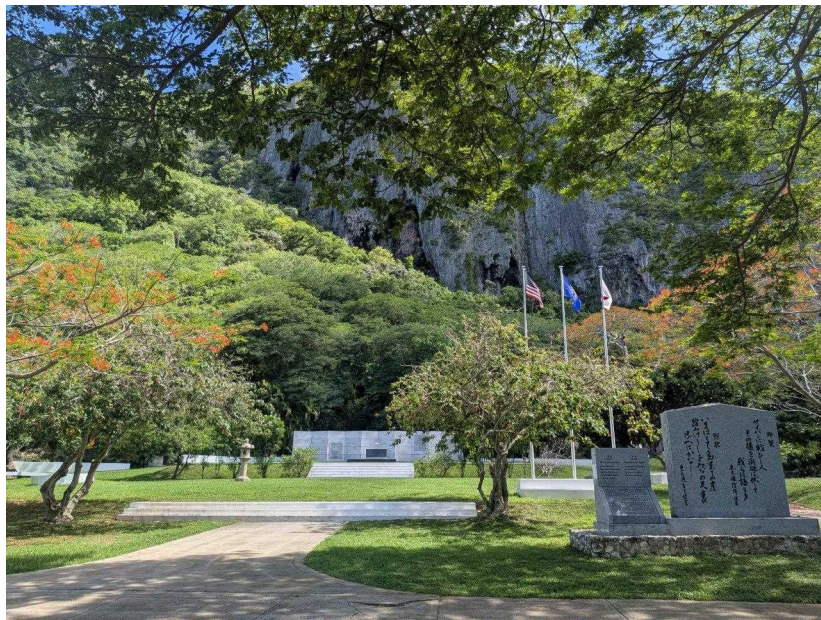


バンザイクリフ

9 歴史



サイパンの香取神社



中部太平洋戦没者の碑
(碑の後方がスーサイドクリフ)



タポチョ山 山頂

10 文化、スポーツ

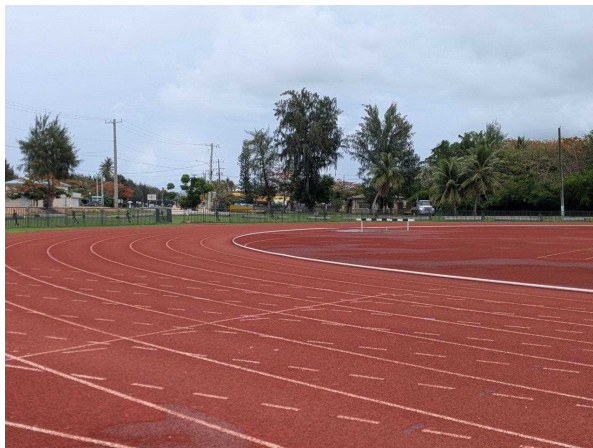
市立図書館では、先住民族の文化や言語を子どもたちへ伝えているほか、伝統工芸品の作成体験を行い、サイパンの地に古くからある伝統の継承を図っている。

スポーツ施設は陸上競技場、野球場、体育館、サッカー場などが整備されている。

男性は野球、女性はソフトボールが多くの人に親しまれている。



市立図書館



陸上競技場



野球場

11 産業

かつて、日本人にとって最も近い海外旅行先として人気だったが、平成12年以降日本からサイパンへの旅行者は大幅に減少し、現在は中国人と韓国人が観光客の多くを占めている。新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けた観光業は現在も全盛期にはほど遠く、大型免税店が閉業するなど、厳しい状況が続いている。

12 環境問題

温暖化による、海面上昇の影響により、海岸線が後退している。

海面上昇により海岸線が後退したため、沿岸に立っていた木々が横倒しになっている様子を、あらゆるところで目にすることができる。



海面上昇による倒木

13 政治

令和7年7月現在のラモン・R B・カマチヨ市長は就任2期目である。

令和8年11月に次期市長選挙が予定されており、カマチヨ市長は立候補を予定しており、他にも出馬を表明されている方がいる。

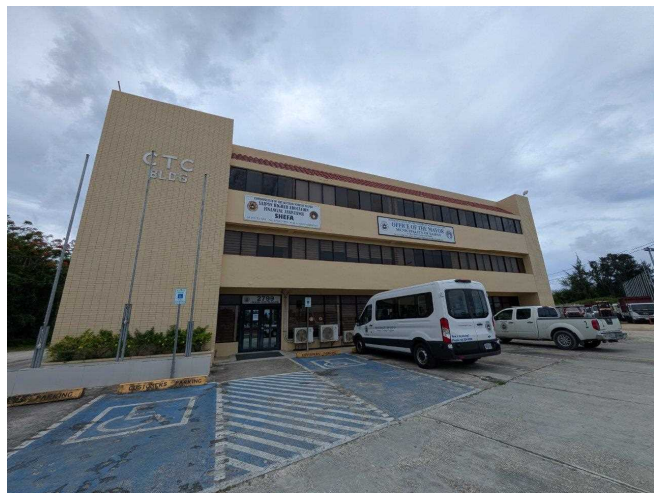
北マリアナ諸島の口タ市、テニアン市とともに市長連合が最近構成され、自治体同士の連携を深めて諸課題に対応していく体制をとることとされている。



14 市政の取組

自治体間交流事業に積極的に取り組まれているほか、青少年育成に対し積極的に支援を行っている。

「マナムコセンター」と呼ばれる65歳以上の高齢者が日中に集うサロンのような機能を有する施設を設置している。



サイパン市役所



マナムコセンター

15 都市間交流

日本の自治体とは、千葉県香取市および北海道登別市との交流を行っている。

そのほか、サイパン市の青少年で構成された阿波踊りチームが高円寺阿波踊りに参加しており、青梅市を含む杉並区の交流自治体に紹介されている。

① 千葉県香取市

香取市にある香取神宮の関係者が毎年サイパンを訪問するなどの交流があったことから、令和3年12月に姉妹都市協定の締結がなされた。

中学校3校がオンライン交流を行っている。

② 北海道登別市

平成17年4月に登別市長がサイパン市を訪れた際に、サイパン市長から交流について打診を受け、平成18年11月に友好都市提携同意書の締結がなされた。

毎年2月にサイパン市から中学生の訪問団を受け入れており、受入れの際には交流協会の協力により、全員ホームステイを行っている。

15 都市間交流

③ 高円寺阿波おどりとサイパン阿波踊りチーム
小学生から20歳前後の青少年35人（視察時点）
で構成されており、「彩帆連（サイパンれん）」と称
している。

サイパン市在住の日本人の方が、踊り等の指導や
「東京高円寺阿波おどり」への参加等の支援をされて
いるほか、高円寺阿波おどり連協会の方が定期的に現
地を訪問し、直接指導を行っている。

「東京高円寺阿波おどり」の際は10名ほどの選抜
メンバーが、約1か月前から日本に滞在し、社会福祉
施設等で阿波踊りの披露をしたり、他の地域でのお祭
りに参加している。



16 交通

サイパン市民は主に車を移動手段としている。住宅や商業エリアの通りは舗装された道路で、大通りには信号機も設置されている。

日本とサイパンの往来は、直行便が成田空港から週3回就航している。サイパンから成田空港についても同様に週3回である（令和7年7月4日時点）。

17 出入国（ビザ・税関申告）

サイパンへは、他のアメリカ合衆国領内とは違い、グアムおよび北マリアナ諸島連邦への電子渡航認証が必要となる。事前にインターネットで入手するもので、45日間の滞在が可能となる。

また、入国審査の際に電子税関申告の確認を受けることが必要である。これも事前にインターネットで手続きを済ませることで円滑に入国できる。

18 その他

① 買物や食事

通貨はUSドルで、ほとんどのお店ではクレジットカードの使用が可能となっている。スーパーマーケットには、日本でも馴染みのある調味料や菓子などが揃えられている。主食が米で、味付けも日本食に近いと感じる物が多い。

② マニャガハ島、バードアイランド、グロット

観光名所として、サイパン島から船で5分程のところにある、海水浴場「マニャガハ島」、北東部の岬の近くに浮かぶ石灰岩の無人島は「バード アイランド」、ダイビングスポットとして知られる海中洞窟「グロット」がある。



マニャガハ島



バード
アイランド



グロット

本報告書の作成にあたって

サイパン市の視察の際には、サイパン市ラモン・R B・カマチヨ市長に、解放記念日パレードにて見学しやすい場所に席をご用意いただくなど、円滑に視察が進むよう多大なるご配慮をいただいた。

また、市内各所の視察には、サイパン市にて都市間交流を担当されているテノリオ・ヒロコ氏がスケジュールを整え、全ての行程において案内と通訳を務めていただいた。

また、千葉県香取市および北海道登別市の担当職員の方々からは、サイパン市との交流に関して貴重なお話を伺うことができた。